

高円宮殿下メモリアル

第22回日本マスターズオーケストラキャンプ (MOC22)

<N響メンバーと共に弾こう～パートIV～コンチェルトの楽しみ>



MOC18(2018年1月) ©相田憲克

募集要項

「高円宮殿下メモリアル日本マスターズオーケストラキャンプ (MOC)」は、より多くのアマチュア演奏家にアンサンブルを研修する機会を提供し、参加者がキャンプで得たノウハウを所属オーケストラに還元することにより、自身の所属オーケストラで指導的な役割を果たすことを重要な目的として、毎年1回開催する(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)の主要事業の一つです。

コロナ禍の中、2021年1月に予定していたキャンプは中止いたしました。しかしワクチン接種の進展にともない、様々な社会活動が再開されています。コロナ対策をしっかりと行ないながら、MOCを開催すべく準備を進めて参りたいと思います。尚、万一感染が拡大した場合の実施可否については、11月末に改めて協議し決定いたします。参加者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

さて今回は、講師にNHK交響楽団の森田昌弘氏(ヴァイオリン)、御法川雄矢氏(ヴィオラ)と藤森亮一氏(チェロ)をお迎えし、課題曲として、ハイドン『チェロ協奏曲第二番』、モーツァルト『ヴァイオリン協奏曲第三番』と、メンデルスゾーン『弦楽の為の交響曲第八番』に取り組みます。

リモートではない生の音楽に触れていただくことで、皆様の新たな音楽活動の糧となりますことを願い、ご案内させていただきます。振るってご応募ください。

「高円宮殿下メモリアル」について

JAO 総裁の故高円宮殿下は、MOCの活動に格別のご関心を示され、第2回(2001年)のキャンプにご来臨くださいました際には、MOCを参加者とともに楽しみました。

ご自身がチェロ奏者でもあり、MOCの前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご遺志を尊重し、第4回よりMOCの名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しています。

主催：公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO)

♪ 講師紹介

《 森田昌弘（ヴァイオリン・総括） Morita Masahiro 》



北海道出身。4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学在学中より在京オーケストラのゲストアシスタントコンサートマスターなどを務め、ストリングアンサンブル VEGA のメンバーとしても活動を行った。同大学卒業後、1995年 NHK 交響楽団 に入団、現在次席奏者を務める。これまでに 山下浩司、辰巳明子の各氏に師事。秋吉台マスタークラス、オホーツク音楽祭 IN 紋別、軽井沢国際音楽祭 等に出演し国内外の著名なアーティストと共演する。また、NHK 交響楽団メンバーによる室内合奏団直方公演や下関公演、豊橋交響楽団、杉並弦楽合奏団、新日本交響楽団とも協奏曲を共演し、いずれも好評を得たほか、トヨタ青少年オーケストラキャンプ (TYOC) や桐朋学園オーケストラアカデミー招聘講師も務める。

《 御法川雄矢（ヴィオラ・指揮） Minorikawa Yuya 》



10歳よりヴァイオリンを始め、その後、ヴィオラに転向。桐朋女子高等学校音楽科を経て2003年桐朋学園大学音楽部を卒業。2001年ピアニストの村上弦一郎氏と共に GEN 室内管弦楽団を立ち上げる。2003年桐朋学園大学音楽部を卒業。5月大阪国際室内楽コンクールにて弦楽四重奏の部セミファイナルに出場。2009年2月 NHK 交響楽団 入団。2011年8月エレメンツ・クアルテット 台湾公演を行い地元メディアにも大きく取り上げられた。これまでにヴァイオリンを市川映子、ヴィオラを故 江戸純子、指揮を故 堤俊作、室内楽を故 青木十良、各氏に師事。現在、NHK 交響楽団 ヴィオラ奏者、小松亮太オルケスタ・ティピカ、エレメンツ・クアルテットのメンバーとしての活動の他、指揮者、アレンジャーとしても活躍している。

《 藤森亮一（チェロ） Fujimori Ryoichi 》



1963年京都に生まれる。11歳よりチェロを学び始める。京都市立堀川高等学校音楽科（現、京都市立京都堀川音楽高等学校）を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。同年第29回文化放送音楽賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斉藤秀雄賞受賞。1987年、NHK 交響楽団 に入団。1990年ドイツに留学し、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。これまでに、故 徳永兼一郎、上村 昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。1998年モルゴーア・クアルテットとして村松賞を受賞。1999年東京オペラシティにおいて無伴奏チェロ曲によるリサイタルを行う。また同年カザルスホールにて「P・カザルスに捧げるチェロ連続演奏会」に出演し、いずれも絶賛を浴びる。2000年より、チェロ四重奏「ラ・クアルティーナ」を結成。演奏会のチケットが入手困難なほど、好評を博している。2007年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。2010年度モルゴーア・クアルテットとしてアリオン賞を受賞。2017年JXTG音楽賞受賞。現在、NHK 交響楽団 首席奏者を務めるかたわら、ソロやアンサンブルの領域でも意欲的な演奏を繰り広げ、国内外のアーティスト等と活発に共演。レコーディング活動においては、ソロはもちろん、さまざまなアーティストから絶大な信頼を得ている。現在、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授、東京芸術大学非常勤講師を務め後進の指導にあたっている。

♪ おことわり（感染症対策の一環として）

- ・原則、2回のワクチン接種を済ませたうえ、ご参加ください。
 - ・キャンプ前2週間の健康観察と直前の抗原検査をお願いする場合があります。
 - ・今回はレセプションと呈茶は行ないません。
 - ・昼食の提供はありません。十分な時間を確保しますので、各自で工夫してください。
 - ・マスクを各自でご用意いただき、常時着用してください。
 - ・「初春コンサート」は無観客とします。
- ※コロナウィルス感染が拡大した場合のキャンプの実施可否については11月末までに決定し、お知らせします。

♪ 参加資格と定員

- ・JAO加盟団体の団員、及びこの事業の趣旨に賛同する奏者。
 - ・募集人員は、概ね80名とする。
- ※選考は運営委員会で決定します。この決定に関する問い合わせにはお答えできません。

♪ 研修曲目（予定）

- (1) ハイドン
チェロ協奏曲第二番（弦楽合奏版）
- (2) モーツァルト
ヴァイオリン協奏曲第三番（弦楽合奏版）
- (3) メンデルスゾーン
弦楽の為の交響曲第八番

♪ 開催日程 2022年1月8日（土）～10日（月・祝）

1月8日（土）	12：00	受付開始
	13：00	開会式、オリエンテーション
	13：30 ～ 18：30	練習
1月9日（日）	9：00	開場
	9：30 ～ 11：30	練習
	11：30 ～ 14：30	昼食・休憩
	14：30 ～ 18：30	練習
1月10日（月）	9：00	開場
	9：30 ～ 11：30	練習
	11：30 ～ 13：30	昼食・休憩
	14：00	「初春コンサート(無観客)」開演
	15：30	修了式
	16：00	解散

♪ 会場

京都府立府民ホール・アルティ
〒602-0912 京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町 590-1
電話：075-441-1414

※会場には駐車場がありません。公共機関をご利用ください。

♪ 参加費

- ・JAO 会員 15,000 円、一般公募 20,000 円

- ・2022年1月3日以降のキャンセルについては返金できません。
- ・DVDは別途業者が販売。代金3,000円（予定）。

♪ 参加申し込み

別紙の参加申込書を使用して、個人単位でお申し込みください。

送付先・お問い合わせ

〒441-8028 愛知県豊橋市立花町46 光陽ビル3F JAO内

「第22回日本マスターズオーケストラキャンプ」係

電話：(0532) 33-6885 FAX：(0532) 33-6875

Eメール：info@jao.or.jp

必ず「参加申込書」にご記入の上、メール、FAX、郵送でお送りください。

締め切り 2021年10月15日(金) (当日消印有効)

※参加の可否については、11月上旬までにお知らせし、パート譜をお送りします。

♪ 大型楽器

- ・コントラバスは原則ご持参ください。

♪ その他

- ・JAO行事はマスコミ等で報道される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・期間中の楽器への事故の補償のために、各自で楽器保険等への加入をお勧めします。
(主催者の過失と認められない事故について主催者は責任を負いません)

以上